

① ①から④の意味のことわざを、から選び、に書きましょう。

① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

② すらすらと話すことのたとえ。

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのたとえ。

急がば回れ

二階から目薬

立て板に水

石の上にも三年

善は急げ

宝の持ちぐされ

② 線を引いた言葉の対になる言葉を から選び、 の中に書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① 多勢に (相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが (しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ)

③ 急がば (急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然の (かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまっていること)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

③ ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 虻蜂とらず A 弱り目にたたり目

② 鬼に金棒 B 柔よく剛を制す

③ 泣きつ面に蜂 C 虎に翼

④ 柳に雪折れなし D 二兎追う者は、一兎も得ず



1

①から④の意味のことわざを、から選び、に書きましょう。

① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

善は急げ

② すらすらと話すことのたとえ。

立て板に水

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

二階から目薬

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのたとえ。

宝の持ちぐされ

急がば回れ

二階から目薬

立て板に水

石の上にも三年

善は急げ

宝の持ちぐされ

2

線を引いた言葉の対になる言葉をから選び、()の中に書き入れて、ことわざを

① 多勢に (無勢) (相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが (勝ち) (しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ)

③ 急がば (回れ) (急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然の (ひみつ) (かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまっていること)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

3

①から⑤までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 虻蜂とらず

② 鬼に金棒

③ 泣きつ面に蜂

④ 柳に雪折れなし

A 弱り目にたたり目

B 柔よく剛を制す

C 虎に翼

D 二兎追う者は、一兎も得ず



① ことわざの意味を理解しましょう。

- ① **善は急げ**……よいと思つたことは、ためらうことなく実行した方がよいこと。
・よいと思つたことは、すぐに実行すべきだという意味。
同じような意味のことわざに、「思い立ったが吉日」がある。

② **立て板に水**……すらすらと話すことのたとえ。

- ・立てた板に水を流すと速く流れることから、すらすらと話すことにたとえた。

③ **二階から目薬**……遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

- ・二階から目薬をさすことはむずかしいことから、思うようにならないことをたとえた。

- ④ **宝の持ちぐされ**……役に立つ物をもっているのに、しまいこんで使わないこと。
・せっかくよいものをもっているのに、役立てないことをたとえた。

② ことわざの意味を考え、ことわざを完成させましょう。

① **多勢に無勢**

- ・相手が多数なのに対して少人数なので、勝ち目がないこと。

「無勢」は「人数の少ないこと」という意味。

② **負けるが勝ち**

- ・して争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ。

同じような意味をもつことわざに「逃げるが勝ち」「負けて勝つ」「負けるは勝ち」がある。

③ **急がば回れ**

- ・遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は早いということ。

同じような意味をもつことわざに「近道は遠道」「急(せ)いては事をし損じる」がある。

④ **公然の秘密**

- ・かくしているつもりが、広く世間に知れ渡ってしまったということ。

③ ことわざの意味を考え、同じような意味をもつことわざを見つけてみましょう。

① **「虻蜂とらず」と「二兎追う者は、一兎も得ず」**

- ・同時に二つを得ようとしても、結局できないことのたとえ。

② **「鬼に金棒」と「虎に翼」**

- ・強い者に、さらに強さを加えることのたとえ。

③ **「泣きつ面に蜂」と「弱り目にたたり目」**

- ・ついでにないことが重なることのたとえ。

④ **「柳に雪折れなし」と「柔よく剛を制す」**

- ・やわらかくしなやかなものが、かえって強いものをおさえること。

